

キラキラ しんいち

第192号

<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/hokubutiikishinkou/269916.html>



発行：新市交流館
電話番号：(0847)52-5546

ホームページの
QRです！



第41回 しんいち交流館まつり &しんいちマルシェが盛大に行われました！

(主催：しんいち学区まちづくり推進委員会)

今年度の「しんいち交流館まつり&しんいちマルシェ」は、2月26日(木)～3月1日(日)の間で、新市交流館、しんいち老人福祉センターで活動されている教室(16団体124人)の作品展示が行われました。

1日(日)のステージ発表では、地域の参加(動画出演)を含め20団体の熱演に会場が大変盛り上がりしました。

オープニングは大正琴の皆さんによる演奏、大正琴の伴奏で、新市保育所ぶどう組が「手のひらを太陽に」、小学校2年生による「それ行けカープ」の合唱に会場からは、手拍手による応援が送られました。

地域の参加は、中央中学校の合唱大会の動画出演や戸手高等学校のダンス部、神谷川親和会の太鼓演奏に会場も、熱気に包まれていました。

2階ロビーでは、作品の販売もありました。

ステージ発表



★戸手高校ダンス部★



★アロハココ・優芽★



★新市小学校2年生児童★



★プルメリア府中★



★らくらくピアノA・B★

作品展

正面玄関を入ると、フラワーアレンジメントやいけばなの展示で、ひと足早い春の訪れを感じられていました。

また、2階の会議室には、着物リフォーム、手芸、絆サークルの作品他、ちぎり絵、写真、絵手紙、陶芸、水彩画、パソコン、スマホなどの多彩な力作が展示されました。

ロビーでは、戸手高校書道部の作品や美術部の水彩画が展示され、地域の方々も熱心に観覧されていました。



★花教室★



★いけばな★



★戸手高校書道部★



★着物リフォーム教室★



★戸手高校美術部★



★手芸サークル★



★スマホサークル★



★絵手紙★

◆◆◆市民課業務のお知らせ◆◆◆

4月1日(水)より、市民課業務の取り扱いができません。

皆さまには、当面の間、ご迷惑をおかけ致しますがよろしくお願い致します。

みんなの終活



エンディングノート ナビゲーターの 赤川なおみです！

つながり“互助”を大切に
～支え合いをみんなでつないでいくために～

(No.91)

こんにちは。「人生悔いなし！を全力サポート」の特定非営利活動法人エンディングノート普及協会理事長の赤川なおみです。3月は年度の締めくくりの月。別れや区切りの季節であると同時に、新しい始まりを準備する時期でもあります。この一年、「互助」をテーマに地域の支え合いについて考えてきました。あいさつや声かけ、ごみ出しや見守り、行事や集まりの場づくり・・・どれも特別なことではなく、日常の中にある小さな行動でした。

今月は、あらためて日常の中にある「互助」について、振り返ってみたいと思います。

互助は、一人で完結するものではありません。誰かの思いやりを受け取り、また次の誰かへ手渡していく「バトン」のようなものです。今年一年の中で、「助かったな」「うれしかったな」と感じた場面を思い出し、メモ用紙で良いので、書き出してみてください。1つでも、一言でも大丈夫です。

書き出したその思いを、今度は自分が誰かに返していく。その循環こそが「互助」につながり、地域のつながりは少しずつ強くなります。そして、その積み重ねこそが、誰もが住み続けたいと思えるまちを形づくっています。

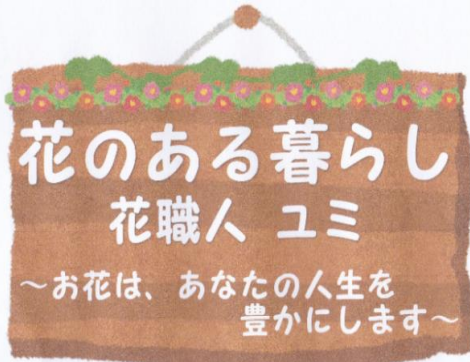
近年、地域活動の担い手不足や高齢化が課題となっています。「次の世代がない」という声もよく耳にします。しかし、互助は大きな役割を担う人だけのものではありません。回覧板を届ける、年に1回でも行事に顔を出す、集まりの準備を少し手伝う。そんな小さな関わりが、次の世代への入り口になります。世代に関係なく、参加しやすい雰囲気をつくること、そのためにはどのように伝えるのが良いのか？少しずつ変化していくことも、未来への大切な一歩です。

また、活動を「見える形」にすることも大切です。どんな取り組みをしているの？どんな思いで続けているの？見える形にすることで、「自分にもできるかもしれない」と思う人が増えます。記録を残す、写真を掲示するなど、互助のバトンを渡す方法を少し変えてみることも、互助を広げるきっかけになります。

3月は振り返りの時期。この一年で生まれたつながりや気づきを、ぜひ言葉に、文字にしてみてください。そして、「来年度はこんなことをしてみたい」「あの人に声をかけてみよう」と、小さな目標をメモに書き出してみてください。未来の地域は、今の私たちの一歩から始まります。



互助とは、困ったときだけの助け合いではありません。日常の中で相手を思い、行動すること。その思いが次の人へと受け継がれ、やがて地域の力になります。また、互助は助けるだけではありません。「助けて」と、素直に地域の人に助けを求めることも、互助を生み出すことにつながります。コロナ禍以降、ご近所との距離が少し遠くなっていませんか？その距離を縮めるには、自分から「助けて」を伝えることも大切です。「互助」とは、できる人ができるときにできることを持ち寄り、お互いさまで支え合うこと。特別な活動ではなく、日々の気づきや声かけから生まれる地域の力です。新しい年度に向けて、互助のバトンを未来へつなぎましょう。誰もが「ここに住んでよかった」と思えるしんいちを、これからも共につくっていきましょう。



3月のお花は、春の枝ものキンバテマリです。

3月になると花屋の店先に並び始めるお花は、細い枝に小さな黄色い花が集まり、まるで黄金色の手毬のようにふんわりと咲く姿が特徴です。まだ花の少ない早春の時期、店先を一気に明るくしてくれる春の代表的な枝ものです。

キンバテマリは中国原産の花木で、日本には江戸時代頃に伝わったといわれています。庭木としても親しまれ、昔から春の訪れを知らせる花木として人々に愛されてきました。冬の間は静かな枝だけの姿ですが、春になると突然枝いっぱい花を咲かせるため、昔の人はその様子を「春の光を枝に集めたような花」と表現したそうです。

花言葉は**「優雅」「品位」**。小さな花が集まって咲く姿は控えめでありながら、どこか気品を感じさせます。

生け花では枝のしなやかな流れを生かして生けると、空間に春の風を感じるような軽やかさが生まれます。チューリップやラナンキュラスなど春の花と合わせると、やさしい季節感のある作品になります。

今回は濃い赤のスカシユリと生けてみました。まだ花をつけてない枝ですが、葉もとても鮮やかな黄緑色で濃い赤によく映えます。

あなたはキンバテマリと何の花を飾りますか？飾るとお部屋が春の光でいっぱいになりますよ。



2026年度（令和8年度）受講生募集！

運動普及推進員・食生活改善推進員 養成講座

～一緒に健康づくりの活動をしませんか～



【運動普及推進員】

(とき) 7月～来年2月(月1回程度)全8回

(対象者) おおむね20歳～75歳の市民

(ところ) 福山すこやかセンターなど

【食生活改善推進員】

(とき) 6月～来年3月(月1回程度)全12回

(対象者) おおむね20歳～75歳の市民

(ところ) 福山すこやかセンターなど

※ともに、受講後、推進員として、基本はお住いの地域でボランティア活動ができる人

(問い合わせ・申込み先) **福山市健康推進課：TEL (084) 928-3421**

ご本人が直接お申し込みください。

(申込み期間) **2026年(令和8年)4月1日(水)～5月8日(金)**

